

後年度・中期目標事業沖繩振興特別推進市町村交付金事業 成果一覽

令和4年9月

那覇市	1	嘉手納町	14
宜野湾市	3	北谷町	14
石垣市	4	北中城村	15
浦添市	5	中城村	15
名護市	6	西原町	16
糸満市	7	与那原町	16
沖繩市	7	南風原町	16
豊見城市	8	渡嘉敷村	16
うるま市	9	座間味村	16
宮古島市	9	粟国村	17
南城市	10	渡名喜村	17
国頭村	11	南大東村	-
大宜味村	11	北大東村	17
東村	11	伊平屋村	17
今帰仁村	-	伊是名村	-
本部町	11	久米島町	18
恩納村	12	八重瀬町	18
宜野座村	12	多良間村	18
金武町	12	竹富町	19
伊江村	12	与那国町	19
読谷村	13		

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	後年度	亜熱帯庭園都市の道づくり基礎調査事業	H27 ～ H30	観光客が道路を安全で快適に移動できるよう、道路の環境改善を図るため、基礎調査を行う。	R4	【R4成果目標】 本事業により整備した道路において、観光客へのアンケート調査等を実施し、安全・快適に移動できるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	久茂地泊線・繁多川中央線の一部を整備した。	-
01 那覇市	後年度	観光協会ホームページ強化事業補助金	R1	安心安全に繋がる情報を提供することで良好な観光地のアピールを図るため、観光協会ホームページのリニューアルに対し支援を行う。	R3	【R3成果目標】 ・ページビュー月平均約21万件 ・本事業について、ページ閲覧者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・ページビュー月平均 33,902件 ・利便性が確保されたかを含め、ページ閲覧者へのアンケート調査を実施 【利便性が確保されたと回答した閲覧者の割合78%】	未
01 那覇市	後年度	「なはでナイト」開発事業	R1	本市における観光客の活動時間の延長、市内消費機会の増加を図るため、夜型観光エンターテインメントの創出・発信に向けた事前調査業務を実施する。	R3	【R3成果目標】 観光客の市内ナイトコンテンツに対する満足度80%以上	観光客の市内ナイトコンテンツに対する満足度調査を実施 【満足度 88.4%】	◎
01 那覇市	後年度	景観まちづくり推進事業	H24 ～ H30	沖縄らしい風景づくりを促進し、観光地の景観としてふさわしいデザインを創出するため、公共デザインマニュアルを作成する。	R3	【R3成果目標】 本事業による公共デザインマニュアルを活用し整備した施設周辺において、観光客へのアンケート調査等を実施し、観光地の景観としてふさわしいデザインであると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	観光地の景観としてふさわしいデザインであると感じるかを含め、観光客へのアンケート調査を実施 【観光地の景観としてふさわしいデザインであると感じると回答した観光客の割合 81.0%】	◎
01 那覇市	後年度	貸切バス乗降場・待機場整備事業	H30	貸切バスの国際通り周辺での路上駐車による交通混雑の緩和を図る。	R4	【R4成果目標】 県庁北口付近及び牧志駅前近への貸切バスの一日平均流入台数:2割減	調査未実施 (旅行需要の回復後に調査を実施する。)	未
01 那覇市	後年度	首里金城町無電柱化推進事業	H25 ～ R1	電線類を地中化することで景観に配慮した昔ながらの風景を再生し、更なる観光地としての魅力向上を図るため、電線共同溝概略設計及び電線管理者が実施した配線計画に対する補償を行う。	R4	【R4成果目標】 本事業により整備した地域について、観光客へのアンケート調査等を実施し、観光地としての魅力が向上したか 80%以上	・沖縄ブロック無電柱化推進協議会にてR3～R7年度までの5カ年間計画を検討中である。 ・上記計画に位置付け次第、街路事業にて事業を推進する計画である。	-
01 那覇市	後年度	なは産業支援センター機能強化事業(駐車場整備)	H28 ～ H30	本市の産業振興を支える企業の育成支援施設「なは産業支援センター」の機能として不足している駐車場(自走式駐車場)の機能拡充を図る。	R4	【R4成果目標】 駐車場が整備されたことにより利便性が確保されたか 80%以上	新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
01 那覇市	後年度	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)活性化基礎調査	H28	牧志公設市場(衣料部・雑貨部)の活性化を図ることを目的とし、施設利用状況等の把握、利用者実態調査等を踏まえ、今後の課題及び方向性を検討するための基礎調査を実施する。	R3	【R3成果目標】 通行量(牧志公設市場衣料部前): 6,000人	・基礎調査の結果及び審議会答申を踏まえ、令和3年度末をもって市場を廃止。 ・市場事業者へ廃止の方針を説明し、移転補償額算定調査を実施した。	未
01 那覇市	後年度	国際通りトランジットモールビジョンづくり支援事業	H29	観光客の誘客及び地元客の呼び戻しを図り、中心商店街の賑わいを創出するため、今後の国際通りトランジットモールのあり方について、アンケート調査や商店街等関係者による会議等を開催、ビジョンを策定し、商店街の活性化と商業の振興を図る。	R3	【R3成果目標】 賑わい創出に向けた取り組み(オープンカフェや夜市等)の実証実験を行い、取り組みに対する満足度をアンケート調査を実施し、満足度80%	トランジットモールの取り組みに対する満足度についてアンケート調査を実施 【満足度 79.4%】	○
01 那覇市	後年度	商店街アーケードビジョンづくり支援事業	H29	誰もが安全・安心・快適に買い物や散策が楽しめる魅力ある中心商店街の商環境整備のため、老朽化したアーケードの権利関係や現地調査、関係者へのアンケート調査などを行い、商店街関係者によるアーケードビジョンづくりを支援する。	R5	【R5成果目標】 平和通り商店街の老朽化したアーケードの撤去、代替案の整備開始	新型コロナウイルス感染症の影響により、アーケード再整備に向けた協議を実施することができなかった。	-
01 那覇市	中期的	那覇港総合物流センター整備事業	H25 ～ H29	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。	R3	【R3成果目標】 那覇港総合物流センターの取扱貨物量: 95,256トン	那覇港総合物流センターの取扱貨物量: 139,173トン(R4年2月時点速報値)	◎
01 那覇市	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ～ H29	新港ふ頭の国産コンテナターミナルには、冷凍食品等低温輸送用コンテナのため、既存のリーファー電源が設置されているが、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応するため、さらなる増設を行う。	R3	【R3成果目標】 那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量: 76万トン	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量: 81万トン	◎
01 那覇市	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	離島航路の維持・改善及び離島振興に向けて、排出ガス削減、騒音抑制を図るなど良好な港湾環境の改善をはかるため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	【R3成果目標】 船舶運航事業者へアンケートを行い、観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか 80%以上	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか、船舶運航事業者へアンケート調査を実施 【観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じると回答した船舶運航事業者の割合 83%】	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	後年度	道路景観整備事業	H24 ～ H30	はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場、ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。	R2	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	未実施	未
02 宜野湾市	後年度	文化財説明板・標識設置事業	H24 ～ R3	観光振興及び文化教育に資するために、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置し、市民等が学べる機会を増やし、市の歴史・文化の継承を図る。	R3	地域文化財を活用した学習会等への参加者数 220人	143人	○
02 宜野湾市	後年度	文化財保存整備事業	H24 ～ R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	R3	地域文化財を活用した学習会等への参加者数 220人	143人	○
02 宜野湾市	後年度	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	R3	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人	コロナ禍により市民向けイベント・地権者意見交換会の開催中止	未
02 宜野湾市	後年度	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	R3	「全体計画の中間取りまとめ(第2回)(委員会案)」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書を作成	調査報告書作成	◎
02 宜野湾市	後年度	被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	R3	被覆資材を導入した事による生産上昇率 5%	-8%	未
02 宜野湾市	後年度	宜野湾ベイスайд情報センター整備事業	H30 ～ R1	本市の創業支援事業計画にも情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置付けられている宜野湾ベイスайд情報センターにて、引き続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。	R3	【R3成果目標】 入居企業数 10社	入居企業数 10社	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
02 宜野湾市	後年度	市民会館機能強化事業	H30 ～ R2	建設から35年が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	R4	年間利用者数 10,000人	年間利用者数 4,108人	未
02 宜野湾市	後年度	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティ事業	H25 ～ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	R3	来場者へのアンケート調査による満足度調査80%以上	満足度 72%	○
03 石垣市	後年度	石垣市民会館設備機能強化事業	H25 ～ H30	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館大ホール舞台機構の機能強化を行う。	R4	【R4成果目標】 島外のイベント会社等が主催する公演数:5件	島外のイベント会社等が主催する公演数:6件	-
03 石垣市	後年度	花満開いしがきじま事業	H29 ～ R2	観光地としての魅力的な景観の形成を図るため、観光中心地に植栽を実施する。	R3	・観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証	・観光客を対象としたアンケート:82%	◎
03 石垣市	後年度	旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R3	旧石垣空港跡地の有効利用に向けた土地区画整理事業の都市計画決定、事業認可、事業実施を図るため、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施する。	R3	旧空港跡地約50haの有効活用	未活用	未
03 石垣市	後年度	新港地区国際クルーズ船寄航誘致支援事業	H24 ～ R2	クルーズ船で寄港する観光客の利便性確保を図るため、新港地区クルーズ船専用護岸に屋根付き歩道を整備する。また、外国船受け入れに必要な埠頭保安規程の改定及び保安設備(照明、監視カメラ、フェンス、ゲート等)の整備を行う。	R3	【R4成果目標】 クルーズ船の年間寄港回数 150回以上/年	未実施 コロナの影響で未実施のためR4に再検証。	-
03 石垣市	後年度	平久保半島エコロード整備事業	H25 ～ R2	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用し、観光誘客を図るため、平久保半島エコロードを整備する。	R3	エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上	未実施 コロナの影響で未実施のためR4に再検証。	未
03 石垣市	後年度	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。	R3	・底地海水浴場の実施設計完了 平久保灯台駐車場用地の取得完了	・底地海水浴場の実施設計完了 ・平久保灯台駐車場用地の取得未完了	△

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
03 石垣市	後年度	明石地区避難道路整備事業	R1	災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、予想される大地震時における津波避難道路を整備する。	R2	【R2成果目標】 整備された避難経路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する中で、安心安全に避難できたか等を含め参加者に対してヒアリングを実施することにより、本事業のあり方について検証する。	・避難訓練の実施には至っていない	未
03 石垣市	後年度	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業	H28 ～ H29	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規加工商品の開発や販路拡大に向けた環境整備と体制の構築を目指すため、生産農家、流通業者、加工事業者等関係機関と協働し、方向性及び取り組み内容を盛り込んだ振興プランを策定する。	R4	【R4成果目標】 野菜・ハーブの生産者戸数84戸	野菜・ハーブの生産者戸数:120戸	-
03 石垣市	後年度	防災体制整備事業	H24 ～ R3	災害時における観光客や市民の安全を確保するため、避難ビル標識等を整備する。	R3	平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証	未実施 コロナの影響で未実施のためR4に再検証。	未
04 浦添市	後年度	浦添市来々来推進事業	H24 ～ R2	住民の生活環境の向上及び新たな観光スポット等の創出を図るため、地区ごとのまちづくり整備計画を策定する。	R2	【R2成果目標】 地区ごとのまちづくり基本計画を基に、住民の生活環境の向上、新たな観光スポットの創出及び観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	事業化には至っていない	未
04 浦添市	後年度	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力向上や地域住民等が地元の歴史や文化に対する興味を深めるため、景観計画の改訂に向けた検討やまちなみ景観を修景するための支援などを実施し、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生を図る。	R3	地域ごとの景観施策、景観まちづくり計画改定版及びまちなみ景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成の推進につなげる	景観形成推進につなげた	◎
04 浦添市	後年度	地域資源復元推進事業	H24 ～ R3	文化の継承及び観光誘客を図るため、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。 平成31年度は仲間火又神修復のための実施設計を行う。	R3	イベント開催(尚寧の道をたずねる、地域散策)等 目標:272人	実績:132人	未
04 浦添市	後年度	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業	H24 ～ R1	浦添グスクの麓に位置する仲間地区の道路に、沖縄らしい風景づくりとしてコーラル舗装をイメージした乳白色のカラーアスファルト舗装を施し、城下まちにふさわしい魅力的な観光地としての景観形成を図る。	R2	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、来訪者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート:81.7%	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
04 浦添市	後年度	浦添市観光振興計画策定事業	H28 ～ H29	顕著に推移する沖縄県の観光産業を下支えするため、浦添市の観光振興の指針となる浦添市観光振興計画策定を行う。	R2	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげる。	浦添市観光振興計画に基づき、観光誘客を目的とした事業の実施につなげた。	◎
04 浦添市	後年度	那覇港(泊ふ頭)陸上電力供給施設整備事業	H28	観光客を受け入れる港として、停泊中の船舶からの排気ガス削減や騒音を抑制し、快適な環境の確保を図るため、泊ふ頭に陸上電力供給施設を整備する。	R3	観光客を受け入れる港として快適な環境が確保されていると感じるか(80%以上)を含め、船舶運航事業者へのアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	アンケート:83.3%	◎
04 浦添市	後年度	冷凍冷蔵コンテナ用電源整備事業	H28 ～ H29	新港ふ頭の国際コンテナターミナルに設置されている、冷凍食品等低温輸送用コンテナのためのリーファー電源を増設することで、年々増大している冷凍冷蔵コンテナ需要に対応し、那覇港における取扱貨物量の増加を図る。	R3	那覇港のリーファーコンテナの取扱貨物量の増加 76万トン	81万トン(速報値)	◎
04 浦添市	後年度	デジタル教科書導入事業	R2 ～ R3	市内小学校へ、指導者用デジタル教科書を導入しICT環境を整備する。	R3	指導者用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童生徒の割合80%以上	アンケート:92%	◎
04 浦添市	後年度	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ～ R3	地主会若手組織の活動体制づくり、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動を支援する。	R3	①提言書の 策定・提出 ②跡地利用計画の発注	①提言書の 策定・提出 ②跡地利用計画の発注	◎
05 名護市	後年度	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	H30 ～ R1	外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点(無線LANアクセスポイント)を整備する。	R3	【R3成果目標】 外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケート未実施	未
05 名護市	後年度	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	屋我地地域における修学旅行等の誘致件数の増加を図るため、観光地周辺及び観光体験施設の整備を行う。	R3	利用率(農業体験施設):10% 修学旅行受入校数:120校	利用率(農業体験施設):0.1% 修学旅行受入校数:4校	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
05 名護市	後年度	名護市食鳥処理施設整備事業	H28	新たな食鳥処理施設の整備に必要な用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食肉処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。	R5	【R3成果目標】 処理羽数:16,000羽/日 【R4成果目標】 処理羽数:16,500羽/日 【R5成果目標】 処理羽数:17,000羽/日	【R4成果目標】 処理羽数:14,350羽/日	○
05 名護市	後年度	名護市工場適地等構想地調査事業	R1	工場適地を確保するための手段・方向性を決定するため、市内において、工場適地等構想地の調査を行う。	R3	【R3成果目標】 工場適地の指定:1地域	【R3成果目標】 工場適地の指定:0地域	未
05 名護市	後年度	21世紀の森体育館機能強化事業	R1 ~ R2	スポーツコンベンション誘致件数の増加を図るため、バレーボール支柱及び電光掲示盤等を整備し、21世紀の森体育館の機能を強化する。	R3	スポーツ合宿件数:9件 施設利用人数:111,400人	スポーツ合宿件数:2件 施設利用人数:56,302人	未
05 名護市	後年度	ICT機器活用推進事業	R2	わかりやすい授業を構築し学校教育の質の確保を図るため、市内小中学校の特別教室等に電子黒板、その他周辺機器を整備する。	R3	①教員を対象にアンケート調査を実施し、授業においてICT機器を活用できたと答える割合80%以上 ②児童生徒を対象にアンケート調査を実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答える割合80%以上	①アンケート結果:93.3% ②アンケート結果:80.4%	◎
06 糸満市	後年度	沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ R2	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	R4	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	-	-
06 糸満市	後年度	観光地危機管理対策事業	H28 ~ R1	大型ホテルやマリンレジャー施設、道の駅等の観光施設が立地する本市にあって、観光客の増加に伴う事故や不測の事態へ対処できる体制の確立のため、防災拠点及び指定避難所の非常食・毛布・炊出し資器材等の整備を行う。	R2	【R2成果目標】 整備した資器材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	防災訓練1回実施	◎
07 沖縄市	後年度	戦後文化資料等展示事業	H24 ~ R2	沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリーの常設展・企画展の充実を図ることで、国内外から大学生や研究者、修学旅行等を含む観光客の誘客を図る。	R3	沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリー年間来館者数 10,000人	沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリー年間来館者数 9,313人	○

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「－」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
07 沖縄市	後年度	道路景観形成等推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	R3	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	道路利用者(観光客)へのアンケート調査 90%	◎
07 沖縄市	中期的	(仮称)雇用促進施設整備事業	H26 ～ H28	中心市街地における大型空き店舗を取得し、企業等へのレンタルオフィスなどを備えた雇用促進施設として再整備することにより、産業振興や雇用創出に寄与する企業等の集積を促進し、地域産業の振興と雇用の創出並びに地域の活性化を図る。	R3	就労者数 350人(H30年度) 400人(R1年度) 450人(R2年度) 500人(R3年度)	雇用促進等施設の就労者数 424人	○
07 沖縄市	後年度	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、プロモーション業務を実施する。	R3	沖縄こどもの国入園者数 65万人	沖縄こどもの国入園者数 36万人	未
07 沖縄市	後年度	商店街等活性化事業	R1 ～ R3	商店街の営業店舗数の増加を図るため、本市全域の商店街等の実態調査を行い、統計データ等を活用して課題を整理分析し、地域特性を活かした商店街等振興施策及び事業等の実施に向けた立案資料を策定する。	R3	営業店舗数(旧銀天街地区:47店舗) 営業店舗数(その他(全体):2,244店舗)	営業店舗数(旧銀天街地区:43店舗) 営業店舗数(その他(全体):2,044店舗)	○
08 豊見城市	中期的	瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	平成24年度策定の「瀬長島観光拠点整備計画」を踏まえ、観光拠点の整備を実現するため、必要な施設並びに設備等の整備を行い、島全体の利便性の向上を図る。	R3	【R3成果目標】 事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数:160万人	事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数:2,730,000人	◎
08 豊見城市	後年度	新しい公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ R2	新たな公共交通システムの導入を目指し、公共交通の利便性向上を図り、公共交通の利用促進をするため、昨年度の検討、整理を行った実施施策に基づいて、市内一周バスのルート検証を行う。	R2	【R2成果目標】 市内一周バス再編により利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケート及び実態調査で検証する。	アンケート未実施	未
08 豊見城市	後年度	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ～ R2	市場や量販店の求める定時、定量、一定品質の野菜を安定生産するために、長雨や強風の影響を受けない耐候性野菜栽培施設を導入する。	R3	野菜(葉野菜類)の反収(10aあたりの生産量) ホウレンソウ 1.1t/10a カラシナ 1.3t/10a チンゲンサイ 1.3t/10a	ホウレンソウ 0t/10a カラシナ 0t/10a チンゲンサイ 0t/10a	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「ー」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
08 豊見城市	後年度	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	R3	R3年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率30%を目指す。	学校復帰率:23.53%	○
09 うるま市	後年度	石川体育館機能強化事業	H30	石川体育館の機能強化を行い、スポーツ合宿の誘致等を図る。	R3	【R3成果目標】 石川体育館を活用したスポーツ合宿等の誘致数:1件以上	石川体育館を活用したスポーツ合宿等の誘致数:1件	◎
10 宮古島市	後年度	観光拠点施設整備事業	R1	観光誘客及び満足度向上を図るため、伊良部大橋橋詰め広場に観光案内所・特産品販売所・レストラン等の複合的機能を有する新たな観光地拠点施設を整備する。	R3	【R2成果目標】 ・年間利用客数37,560人 ・観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R2成果目標】 ・年間利用客数37,491人 アンケート結果:96.5%	○
10 宮古島市	後年度	伊良部地区観光地総合整備事業	H28 ～ R2	観光客の利便性確保を図るため、伊良部地区の各観光地における受入機能強化、便益施設の整備を行う。	R3	観光客の満足度向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:96.5%	◎
10 宮古島市	後年度	新城海岸環境整備事業	H28 ～ R1	新城海岸トイレ・シャワー施設における水利用の衛生面を改善し、観光客の利便性向上を図るため、水道管敷設工事を実施する。	R3	【R2成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:96.5%	◎
10 宮古島市	後年度	観光施設美装化事業	R1	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、竜宮城展望台内外壁の美装化塗装工事を実施する。	R3	【R2成果目標】 ・魅力的な観光地にふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:91.9%	◎
10 宮古島市	後年度	観光地公園環境美化強化事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	R3	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート結果:95.9%	◎
10 宮古島市	後年度	宮古島市海業センター整備事業	H24 ～ R1	安定的な種苗生産供給による養殖業の生産量向上を図るため、宮古島市海業センターの機能強化に向けた取水管敷設および取水施設機械設備整備を行う。	R3	シラヒゲウニ稚ウニの安定した種苗生産:25,000匹 タイワンガザミ稚ガニの種苗生産:140,000匹 研修施設利用者数の増員:320人	シラヒゲウニ稚ウニの安定した種苗生産:0匹 タイワンガザミ稚ガニの種苗生産:0匹 研修施設利用者数の増員:0人	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
10 宮古島市	後年度	宮古島市陸上競技場機能強化事業	R2	宮古島市陸上競技場を大学や実業団チームも利用可能なトラックの複合弾性舗装や、競技数の拡大が可能となる障害池の深さの嵩上げ等、宮古島市陸上競技場の整備を行う。	R3	島外からの合宿受入数:20件	島外からの合宿受入数:10件	未
10 宮古島市	後年度	演奏活動推進事業	R2	市内小中学校の吹奏楽部において、楽器が不足しており十分な練習活動ができない状況にある。必要な楽器を整備し、音楽や吹奏楽をととして、児童生徒の能力や可能性を伸ばす人材育成及び地域活性化の推進等を図る。	R3	①楽器の整備により部員の音楽に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、部活動のあり方についてアンケート調査により検証する。 ②楽器購入後に参加した複数のイベントへの総来場者数:6,000人	①アンケート結果:78% ②イベント来場者数:未実施	未
10 宮古島市	後年度	高等教育機関の設置検討事業	H28 ～ H29	宮古島市における高等教育機関の設置に向け、設置分野を決定するための検討委員会の実施、平成28年度事業で設置意向を示した学校法人への詳細調査を行う。	R3	高等教育機関の設置認可 1件以上	高等教育機関の設置認可 0件	未
10 宮古島市	後年度	地下水保全調査事業	H29 ～ R2	安全な生活用水の確保を図るため、地下水をくみ上げる水源地を選定する。また、地下水の安全性に関するモニタリング調査を行う。	R3	①R3年度に伊良部島内に予備水源地1箇所確保 ②R3年度に平良地下水流域の水源地1箇所確保 ③本年度実施する流域保全方針検討の結果を踏まえ、平良地下水流域の水道水源保全地域の設定し、安全な生活用水の確保につなげる。 ④本年度実施する硝酸性窒素の現状把握調査結果を踏まえ、地下水に含まれる硝酸性窒素の削減目標を設定し、安全な生活用水の確保につなげる	①1箇所の候補地を選定 ②1箇所の候補地を選定 ③平良地下水流域内の一部を保全地域に設定完了 ④4つの指標に分けて設定完了	未
11 南城市	後年度	インバウンド受入環境整備事業	H28 ～ R3	外国人観光客の誘客及び満足度確保を図るため、需要調査及び市内における受入体制強化並びに旅行商品開発及び情報発信を行う。		南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	アンケート未実施	未
11 南城市	後年度	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、世界遺産斎場御嶽をはじめ、東御廻りに関するスポットの周辺整備等を行う。 今年度は、世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成及び景観維持に係る計画を策定する。	R3	①観光客を対象にアンケートを実施し、観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 ②滞在型観光プログラムの利用者数:延べ100人以上	①アンケート未実施 ②中止	未
11 南城市	後年度	平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	糸数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、来訪者の安全確保及び戦跡の保全のための工事をを行い、沖縄戦の歴史の継承及び観光誘客を図る。	R3	年間来場数:108,800人	年間来場数:9,032人	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
12 国頭村	後年度	やんばるの森拠点施設活用推進事業	H29	やんばる国立公園指定に伴い、国頭村森林公園をやんばるの森の拠点施設として活用するため、公園のニーズ及び課題を調査し、管理運営の手法等を検討する。	R3	国頭村森林公園の来場者数 24,317人以上	国頭村森林公園の来場者数 8,030人以上	未
12 国頭村	後年度	多自然川づくり事業	H24 ～ H31	自然再生型事業として、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)を整備することで、中心市街地の魅力あるまちづくりとリンクさせた地域の活性化を図る。	R4	【R4成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	-	-
12 国頭村	後年度	奥区地域づくり計画策定事業	H27 ～ H29	「地域づくりゆんたく会」の開催やツアープログラムメニューの開発による具体的手法の確立及び実施体制の構築を図るため、事業の具体化に向けた取組の実施や3ヶ年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理する。	R3	イベント・ツアーへの参加者数:272人以上	イベント未実施	未
13 大宜味村	後年度	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	R1	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	R4	【R4成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数:500名以上	-	-
13 大宜味村	後年度	カラキ活用推進プロジェクト	H28 ～ H31	カラキ(オキナワニッケイ)をシナモンとしての価値に着目し村内の地域資源として活用し、苗木生産から一次加工、商品開発・ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。	R4	【R4成果目標】 村内の加工品販売店12店舗と飲食店9店舗のうち5割以上での活用を目標	-	-
13 大宜味村	後年度	喜如嘉の芭蕉布魅力発信事業	R1	国指定重要無形文化財である喜如嘉の芭蕉布の保存継承を図るため、着物を制作し、やんばるの森ビジターセンター(道の駅おおぎみ)に展示するとともに、イベントの際に着付け体験や作業体験等を実施し、喜如嘉の芭蕉布の魅力発信する。	R3	喜如嘉の芭蕉布及びその伝統技術について、興味・関心がもてたか(80%以上)を含め、施設来場者に対するアンケートにより本事業の在り方を検証する。	施設来場者に対するアンケート:99%	◎
14 東村	後年度	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業	H25 ～ R2	「東村村民の森つつじ園」の各施設の機能を強化するため、「東村村民の森基本計画」に基づき整備する。	R3	年間利用者数118,000	実績:60,448	未
16 本部町	後年度	もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R3	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	R3	販売目標達成率:100%	販売目標達成率81%	○

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
17 恩納村	中期的	万座毛周辺活性化施設整備事業	H24 ～ R1	万座毛へ来訪する観光客の増加を図るため、休憩所や地域の特産品販売所、展望台等の機能を有した観光拠点施設及び駐車場を整備する。今年度は建築及び外構工事を行う。	R3	・年間利用者数 1,020,000人以上	・年間利用者数:238,202人	未
17 恩納村	後年度	恩納通信所跡地活用基盤整備事業	H28 ～ R2	駐留軍用地跡地である恩納通信所跡地の円滑な利用の推進に向け浸水被害の防止を図るべく、排水路を整備する。今年度は、第2期改修工事を行う。	R3	【R3成果目標】 台風時等の被害件数(排水路の氾濫):0件	勢高排水路の氾濫:0件	◎
18 宜野座村	中期的	リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)	H24 ～ R3	観光振興を図るため、観光拠点施設の整備を行う。	R3	【R3成果目標】 年間入場者数200,000人以上	実績:139,312人	未
19 金武町	後年度	金武町移民の日記念事業	H29 ～ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	R3	参加者に対してのアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)	アンケート結果:83.6%	◎
19 金武町	後年度	「金武町の偉人及び民話」絵本化事業	H29 ～ R1	「金武町の民話と伝説」及び「金武町の偉人」を絵本化し学校、地区公民館、県内図書館、海外金武町人会等に配布する。	R2	寄贈先の読者へのアンケートで、絵本の内容について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	アンケート結果:89.0%	◎
20 伊江村	後年度	村立保育所整備事業	R1 ～ R2	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。	R4	待機児童 ゼロ	待機児童 ゼロ	◎
20 伊江村	後年度	墓地整備基本計画策定事業	H29	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、現状の調査、許可区域の選定、運営方針等の基本計画を策定する。	R3	【R3成果目標】 令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。	実績:4件	未
20 伊江村	後年度	伊江村観光危機管理計画策定事業	H30	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。	R2	【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画を策定した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	避難訓練実施未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
20 伊江村	後年度	伊江村多目的交流センター整備事業	H30 ～ R2	伊江村多目的交流センターの基本構想を策定し、施設に求められる役割や導入機能及び必要規模等の整理や村内の合意形成等を図る事によって、本村の推進するスポーツコンベンションを推進し、合宿や教育旅行民泊の受入れ人数の増加を図る。	R4	年間利用者数 18,000人/年	実績:0%	未
20 伊江村	後年度	伊江村観光振興基本計画策定事業	H29	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。 また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインバウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。	R3	入域観光客数 158,000人/年	実績:40,816人	未
20 伊江村	後年度	バス停上屋整備事業	R2	観光客及び地元住民がバス停で日差しや雨風を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	R3	・観光客等が快適に公共交通機関を利用できる環境が整備されたか(80%以上)を含め利用者へアンケート調査を実施することにより本事業のあり方を検証する。	アンケート:80%	◎
20 伊江村	後年度	離島における陸上養殖可能性調査事業	H30 ～ R2	伊江村の漁業振興に向けて、これまで夏場の海水温の上昇等により栽培ができなかった海藻養殖等に着目し、産学官連携により伊江島琉球石灰岩地層の地下海水を汲み上げ、新たなる過海水による陸上養殖事業として、海藻養殖等の事業化に向けた海水調査事業を実施する。	R3	調査結果を踏まえて生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	生産量目標値の設定のみ実施。陸上養殖施設整備は未実施。	未
21 読谷村	後年度	川回る広場整備事業	H30 ～ R2	ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、川回る広場を整備する。	R3	ソフトボール場競技公式戦の誘致 5件 ソフトボールチームのキャンプ誘致 6件	ソフトボール場競技公式戦の誘致 5件 ソフトボールチームのキャンプ誘致 0件	△
21 読谷村	後年度	ICT機能強化事業(中学校デジタル教科書)	R2	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、中学校にデジタル教科書を整備する。	R3	デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合 80%以上	デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合 95%	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
21 読谷村	後年度	ユンタンザミュージアム建設事業	H26 ～ H29	世界遺産座喜味城跡公園内に新読谷村立歴史民俗資料館(仮称ユンタンザミュージアム)を建設(本館改築と別館機能強化)し、世界遺産座喜味城跡や村内歴史文化資源のガイド機能拡充し観光振興を図る。	R4	来館者数:38,500人	-	-
21 読谷村	後年度	低炭素社会構築事業	H30 ～ R2	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯等をLED照明に切替、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	R3	防犯灯のLED化によるCO2排出削減量 268.5t	防犯灯のLED化によるCO2排出削減量 354.9t	◎
21 読谷村	中期的	読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ～ R3	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利活用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	R3	区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	◎
22 嘉手納町	後年度	観光史跡等説明板整備事業	H24 ～ R2	町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図るため、町史跡、旧跡等へ多言語表記した説明板を設置する。	R4	町文化財を活用した学習会等への参加人数100人以上	町文化財を活用した学習会等への参加人数90人	○
22 嘉手納町	後年度	嘉手納町防災情報発信強化事業	H29 ～ H30	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、本庁舎と町内沿岸地域、集落地域とを無線で結び屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、放送室など親局機能を整備して防災無線システムをデジタル化に構築する為の基本計画を策定する。	R3	防災無線等を活用した避難訓練を実施(1回以上/年)	防災無線等を活用した避難訓練を実施(1回)	◎
23 北谷町	後年度	アラハビーチ周辺魅力向上事業	R1	北谷町の観光名所の一つである安良波公園の機能強化を行い、魅力度向上を図る。	R3	安良波公園利用者数:50万人	安良波公園利用者数21万人	未
23 北谷町	後年度	ICT教育推進事業	R2 ～ R3	教授用タブレットPCを整備し、より魅力的でわかりやすい授業を展開する。	R3	①児童生徒へのアンケート調査を実施 ICT機器を活用した授業の分かりやすさ80%以上 教員へのアンケート調査を実施 ICT機器活用の習熟度が上がった80%以上	①アンケート結果:97.7% ②アンケート結果:90.5%	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「ー」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
24 北中城村	後年度	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業	H27 ～ R1	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワーブラザ地区やその周辺一体が村の観光交流拠点としてまちづくりが行えるよう基本構想の検討を行う。	R2	【R2成果目標】 策定する基本計画において成果を設定する。	検討中	未
24 北中城村	後年度	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	H24 ～ R2	駐留軍用地の返還から跡地開発までの一連の流れを後世に伝えるため、アワセゴルフ場跡地の返還合意から跡地利用までの映像による記録及び編集を行う。	R3	村HPアクセス数:660回	村HPアクセス数:551回	○
24 北中城村	後年度	農を活かした北中城活性化事業	H28 ～ R2	水耕栽培実証実験を継続し、その栽培品目による6次産業化商品(試作品)のテスト販売等を行うことで、市場性等の検証を行う。また、水耕栽培施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化実証に向けた基本設計及び実施計画を策定する。	R3 R5	【R3の成果目標】 ・村施設として導入:0→1件 【R5の成果目標】 ・民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数:0→2件	・村施設として導入:0件	未
24 北中城村	後年度	学校ICT活用支援事業	R2	大型ディスプレイ等のICT環境を整備し、分かりやすい授業を実践することによる学校教育の質の確保や教員のICT機器の習熟度を高めることにより、子ども達の学力・情報活用能力等の向上を図る。	R3	①「ICT活用授業は分かりやすかった」と答えた生徒の割合:80%以上 ②「ICTを用いて分かりやすい授業ができた」と答えた教職員の割合:80%以上	①「ICT活用授業は分かりやすかった」と答えた生徒の割合:91.8% ②「ICTを用いて分かりやすい授業ができた」と答えた教職員の割合:84.5%	◎
25 中城村	後年度	防災体制整備事業	H26 ～ R2	津波被害や土砂災害の危険性の高い本村において、自然災害に強い村づくりを推進していくため、防災基盤の整備を実施する。水害時に、迅速な災害対応ができるよう、水害対策用品の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進する。	R4	防災体制整備事業で整備した備品等を活用し、防災訓練を年2回実施	防災体制整備事業で整備した備品等を活用し、防災訓練を年2回実施	◎
25 中城村	中期的	(仮称)護佐丸歴史資料図書館整備事業	H24 ～ H27	沖縄や中城村の歴史、文化、世界遺産等について学べる場所であり、それらを村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、また、災害時の安全を確保するため防災タワーも兼ねた複合施設として、(仮称)護佐丸歴史資料図書館の整備を行う。	R3	【R3成果目標】 年間利用者数 91,300人	【R3成果目標】 年間利用者数 50,688人	未

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
26 西原町	中期的	農水産物流通・加工・観光拠点整備事業	H24 ～ R2	農水産物直売施設及び地域食材提供施設等を併せ持つ拠点施設を整備し、地産地消、地元食材の消費拡大及び地元産品を活用したグルメ提供を行うことで、生産者の所得向上を図る。	R3	【R3成果目標】 ・農水産物販売機能：年間総売上225百万円 ・地域住民が活用できる厨房機能：年間利用件数96件 ・地域情報展示発信機能：本施設について、来場者へのアンケート調査を実施し、西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	・農水産物販売機能：年間総売上362百万円 ・地域住民が活用できる厨房機能：年間利用件数23件 ・地域情報展示発信機能：西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されているかを含め、来場者へアンケート調査を実施する。 【西原町の歴史文化や地域情報が効果的に発信されていると回答した来場者の割合 97.3%】	○
27 与那原町	後年度	新しい公共交通検討事業	R1 ～ R2	高齢者や障がい者の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	R3	需要や課題等の実態把握の完了	需要や課題等の実態把握 未完了	未
28 南風原町	後年度	災害時等避難施設機能強化事業	H24 ～ R3	災害時における地域住民及び観光客の安全を確保するため、バリアフリー化等、避難所の整備を支援する。	R3	整備された避難所を活用した避難訓練の実施(年1回)の際に、参加者に対して災害時に有効に活用できるか等ヒアリングにより、本事業を検証する。	避難訓練及びヒアリング1回実施	◎
28 南風原町	後年度	北丘小学校西側避難通路整備事業	H26 ～ H30	災害時の住民の安全を確保するため、避難通路及び法面の整備を行う。	R2	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	避難訓練未実施	未
28 南風原町	後年度	津嘉山小学校南側避難通路整備事業	H26 ～ H29	津嘉山小学校は災害時に避難所として指定されており、小学校の南側集落からの避難通路としては未整備となっているため、災害時にも安全に活用できるよう整備を行う。	R2	整備した避難通路を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	避難訓練未実施	未
29 渡嘉敷村	後年度	渡嘉敷村防災体制強化事業	R2	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。	R3	渡嘉敷村消防団訓練 12回以上/年	6回実施	未
30 座間味村	後年度	座間味村平和・未来プロジェクト事業	H30 ～ R2	本村の沖縄戦に関する歴史の継承及びこれらの歴史を活用した観光誘客を図るため、沖縄戦に関する資料や体験者証言等を整理し、平和学習等に活用する。	R3	①年間ホームページ閲覧数:8万件 ②各教育機関へのデジタル媒体の配布:100件 ③パンフレット・マップ配布数:5,000枚 ④平和学習会時におけるアンケートの実施(本村における戦争事実について理解が深まったか・80%以上)	①年間ホームページ閲覧数:3,572件 ②各教育機関へのデジタル媒体の配布:0件 ③パンフレット・マップ配布数:5,000枚 ④アンケート結果:96.2%	△

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」…「ー」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
31 粟国村	後年度	照喜名原地区整備事業	H27 ～ R3	粟国島を訪れる観光客の受け入れ基盤を強化するため、「ウーグの浜」を含む照喜名原地区の整備を行う。	R3	年間利用者:900人	年間利用者:46人	未
32 渡名喜村	後年度	渡名喜村フォトツーリズム事業	H30	フォトツーリズム事業を行うため、フォトガイドブックやポスター等を作成し、県内外へ周知していく。	R2	【R2成果目標】 ・フォトツーリズム関連の観光客数:25人以上	未実施	未
34 北大東村	後年度	北大東村葬祭場建築事業	H30 ～ R1	地域住民の協力により各自宅で葬儀を行わざるを得ない住民の負担を軽減するため、葬祭場と火葬場の一体利用が可能な複合施設を整備する。	R3	住民の福祉が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	アンケート結果100%	◎
34 北大東村	後年度	北大東小中学校地域副読本制作事業	R1 ～ R2	北大東島の歴史や文化をまとめた副読本を制作し、郷土学習を行うことにより、島の歴史、文化の継承を図る。	R3	北大東島の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	アンケート結果100%	◎
34 北大東村	後年度	北大東村認定子ども園整備事業	H30 ～ R2	保育ニーズへの対応及び園児の発育向上を図るため認定こども園を整備する。今年度は実施設計を行う。	R3	(保育部分) ① 待機児童 0人 (幼稚園部分) ② 発育度が向上したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	①待機児童 0人 ②アンケート結果 100%	◎
35 伊平屋村	後年度	海浜公園植栽及び緑化体制整備事業	H24 ～ H30	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、海浜公園内の植栽管理及び緑化推進体制の整備を行う。	R3	【R3年度成果目標】観光地として魅力的な景観であると感じるか(80%以上)を含め、米崎海浜公園の景観形成のあり方についてアンケート調査により検証する。	【R3年度成果目標】 米崎海浜公園の景観形成のあり方についてアンケート 80%	◎
35 伊平屋村	後年度	新伊平屋村製糖工場建設工事	H29 ～ H30	本村の基幹産業であるさとうきび・糖業の安定した生産体制を確立し、継続的なさとうきび・糖業の振興を図るため、含みつ製糖施設を整備する。	R3	【R3成果目標】 製糖期間におけるさとうきびの受け入れ可能割合100%	製糖期間におけるさとうきびの受け入れ可能割合100%	◎
35 伊平屋村	後年度	生ゴミ等循環型資源活用事業	H28 ～ R1	生ゴミを堆肥化することにより、環境改善を図るため、生ゴミ処理機等を整備する。	R3	堆肥化された生ゴミの量:3.9t	堆肥化された生ゴミの量:4.4t	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
37 久米島町	後年度	久米島町観光危機管理体制構築事業	R1	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。	R2	避難訓練を実施し、訓練に参加した事業所・観光客等を対象としたアンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合 80%以上	訓練中止のためアンケート未実施	未
37 久米島町	後年度	子育て支援事業	H28 ～ R3	子育て支援の充実を図るため、幼児から小学生が気軽に安心安全に遊べる施設を整備する。また、家族連れの観光客が安心して遊べる公園を整備することにより、観光地としての魅力アップを図る。	R3	アンケート調査により「当該施設の整備により利便性が確保されたか」の割合 80%以上	アンケート未実施	未
37 久米島町	後年度	防災情報収集発信体制整備事業	H29 ～ R2	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。	R3	町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、アンケートで「参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか」の割合80%以上	訓練中止のためアンケート未実施	未
37 久米島町	後年度	久米島霊園整備事業	H30 ～ R2	墓地の散財化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。	R3	霊園施設利用世帯:16世帯以上	霊園施設利用世帯:47世帯	◎
37 久米島町	中期的	複合型防災・地域交流拠点施設整備事業	H29 ～ R1	災害時には地域住民や観光客等の安全確保を図るため、安全に避難生活をおくれる避難所を、平常時は地域住民の交流及び学習の場の確保を図るため、地域の交流拠点・学習施設として利用できる施設の整備を行う。	R3	・施設を利用した避難訓練を実施 2回/年(うち観光シーズンの実施1回) ・避難訓練参加者に対するアンケートで「安全・確実に避難できたか」の割合 80%以上 ・施設の年間利用者数(図書館のみの利用を除く) 4,300人 ・図書館の年間貸出冊数 44,300点	・避難訓練の実施 0回 ・アンケート 52% ・利用者数 9,438人 ・貸出冊数 10,837点	△
38 八重瀬町	後年度	八重瀬町農業機械施設整備事業	R1 ～ R2	共同利用機械等を農業団体等へ貸与することにより、市場ニーズに対応できる安定生産・出荷に向けた産地形成を図り、農業経営の安定化を推進するとともに、農産物の生産振興を図る。	R3	【R3成果目標】 (液肥散布車) ①サトウキビの生産コスト(施肥)の5%以上低減(いも類収穫機等) ②栽培面積及び③収穫量の割合を5%以上増加	①33.3%減少 ②211%増加 ③211%増加	◎
38 八重瀬町	後年度	「義人謝花昇」映像資料制作事業	R2 ～ R3	八重瀬町の偉人、謝花昇生誕155年の節目に、幅広い世代に向けた映像コンテンツを制作、放映、各教育機関また公共機関で継続的に映像を使用し、偉人顕彰の機運を醸成する。	R3	①「地域の偉人に対する理解度が向上した」と回答した割合(90%) ②「地域に対する愛着心が高まった」と回答した割合(80%)	①91% ②81%	◎
39 多良間村	後年度	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ H31	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	R3	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 112.5%以上	価格差の割合 111.3%	◎
39 多良間村	後年度	多良間中学校グラウンド全天候型改修事業	H29 ～ R2	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、多良間中学校グラウンドを全天候型に改修する。	R3	村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止、日程変更等の回数 0回	村内で開催する大会の雨天後のグラウンド環境の悪化による中止、日程変更等の回数 0回	◎

【後年度・中期目標】 沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」・・・「◎」 「概ね達成」・・・「○」
 「一部達成」・・・「△」 「未達成」・・・「未」
 「R4年度以降に効果発現する事業」・・・「-」

市町村名	検証年度	事業名	事業期間	事業内容	効果発現年度	成果目標(指標)	R3年度成果実績(指標)	評価
39 多良間村	後年度	多良間村防災体制構築事業	R2	災害時における村民及び来訪者の安全・安心を確保するため、地域防災計画及び各種対応マニュアル等の見直し、策定を行う。	R3	避難訓練参加者(年1回)の満足度「安全に避難・誘導できた」と答えた割合 90%	避難訓練参加者(年1回)の満足度「安全に避難・誘導できた」と答えた割合 90.2%	◎
40 竹富町	後年度	干立地区防災機能改善事業	H29 ～ R1	西表島干立地区の金座山に津波避難路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	R2	整備完了後の目標を以下のとおりとする。 ①整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ②避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	①避難訓練実施1回 ②アンケート未実施	未
40 竹富町	後年度	西表東部公園整備事業	H29 ～ H31	地域においてワークショップを行い、住民、児童達の要望を取り入れ、巨大ヤマネコを利用したすべり台、ボルタリング等の遊具の整備やスポーツ広場、健康広場、駐車場、休憩所、便所等の整備を行う。	R4	施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	アンケート結果:93.5%	◎
40 竹富町	後年度	登録有形文化財(建造物)なごみの塔周辺整備事業	R1	登録文化財を活用し観光誘客を図るため、危険建造物となっている登録有形文化財(建造物)なごみの塔を修理し、観光イベントに活用する。	R2	①なごみの塔の限定公開イベント(年12回)の際に等に昇降する延べ人数 1560人/年 ②登録文化財を活用した観光を推進する上で、なごみの塔の修理工事により危険が除去されたと感じる住民の割合	①イベント未実施 ②割合:75%	未
41 与那国町	後年度	与那国島古民家活用型定住促進事業	H26 ～ R1	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、古民家解体並びに解体古材資源活用マニュアルの作成を実施し、町内建設事業者の関与を促進すべく、技能研修機会を事業に盛り込む。古材を重視した耐震補強、部材修理等を含め、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた設計監理業務、定住促進住宅整備工事を実施する。	R3	【R3成果目標】 島外からの体験型住宅入居人数 2人	令和3年度未供用のため未実施	未
41 与那国町	後年度	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1	本町の地理的優位性を活かし交流人口の増加を図るため、国際交通及び国際交流の拠点化に向けた施策を展開する。今年度は基礎調査を行い、行動計画を策定する。	R3	【R3成果目標】 高速船を台湾へ就航させる実証実験の開催しての交流を図る。目標値 交流人口160人	コロナの影響で未実施	未
41 与那国町	後年度	与那国町デマンド交通運行事業	R1	住民及び観光客の島内交通に係る利便性の確保を図るため、ICTを活用したデマンド交通を導入する。	R2	【R2成果目標】 デマンド交通試行運行の結果等を踏まえ、町における公共交通の目標利用者数を設定し、離島地域における持続可能で利便性の高い公共交通導入に向けた取組の確実な実施につなげる。	コロナの影響で未実施	未